

地域の障がい児に対する支援体制の状況及び中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況について

令和7年1月より、NPO法人ちはや子どもサポートマザーズハウスきずなStepは、本村における地域障がい児支援体制中核拠点として、機能を強化するために以下の取り組みを行っています。

4つの中核機能

【幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能】

- ・言語聴覚士、作業療法士、5年以上児童の支援に携わっている保育士などの配置
- ・必要時、保護者面談・自宅訪問等行い、家族支援を行う
- ・親の会開催

【地域の障がい児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能】

- ・事業所・関係機関向け研修の開催
令和7年2月2日：読み書きサポートグッズ展示会
令和7年11月11日：防災研修
～大切なヒトの命を守るためにできること～

*写真あり

【地域のインクルージョン推進の中核機能】

- ・学校や行政機関との担当者会議/支援会議の実施・参加
- ・保育所等訪問支援事業開始に向けて、人材確保・育成を行っている

【地域の発達支援に関する入口としての相談機能】

- ・相談支援事業所マザーズネット（令和6年4月より障がい児の委託相談支援事業を行っている。
⇒村親の会に参加

～学習支援グッズ展示会の様子～

